

# 令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 伏虎義務教育 学校
校長氏名	十河 秀彰
作成日	令和3年2月22日

## 1 教育目標

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成
---------------------------------

## 2 本年度の取組についての評価

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある優しい子供	健やかに、たくましく生きる元気な子供	地域とともにある学校
<b>指標</b>	和歌山県到達度調査 学校評価アンケート ・毎日の勉強がわかる。 ・授業は楽しく分かりやすい。 ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。	学校評価アンケート ・学校が楽しい。 ・私はそうじを一生懸命している みんなそうじを一生懸命している。 ・誰にでもあいさつができる。 みんな気持ち良いあいさつをしている。	学校評価アンケート ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。 ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。	学校評価アンケート ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。
<b>重点目標</b> 【P】	・確かな学力の向上 ・言語活動(ことばの力)の充実 ・「わかやま創造科」の創設 ・外国語教育の充実 ・理数教育の充実	・体験活動の充実 ・道徳教育・人権同和教育の充実 ・自主的・実践的活動の推進	・特別支援教育の充実 ・健康安全教育の推進 ・キャリア教育・進路指導の充実	・家庭・地域との連携充実 ・地域資源の活用推進 ・地域行事やボランティア活動への参加
<b>取組の状況</b> 【D】	・「わかやま創造科」を中心に、教職員全体で授業研究を推進し、児童生徒が探究的に学ぶ力の育成に努めた。 ・数学科において、8、9年生での少人数指導を行った。 ・算数科において、6年生でのTT指導を行った。	・儀式的行事や体験活動が制限を受ける中、何が出来るかを教職員で共有し、取り組んだ。 ・運動会では、学年の枠を超え交流が行われた。 ・図書館を充実させ、読書に親しみやすい空間にした。また、「わかやま創造科」の成果物を紹介の場を設け、児童生徒で共有できるようにした。 ・全校一斉の朝掃除を行った。 ・5年生以上の全児童生徒が参加する委員会活動を行った。	・支援や配慮の必要な子供について、教職員間の情報共有を進めるための基礎資料を作成した。 ・保健室だよりの発行、保健委員会活動を通じて、健康についての意識向上に取り組んだ。 ・「食」に関わる掲示や通信で、健康についての意識を高めた。 ・職場体験は残念ながらできなかったが、「わかやまキャリアガイダンス」「ライフプランニング」(8年)を開催し、様々な職業人からお話を伺った。	・伏虎通信を毎月地域に配布させていただいた。HPを通じて学校の情報を発信した。 ・10月から学校図書館ボランティアさんが定期的に来校してくださるので、常時開放が可能となり、書架が整頓され、季節のディスプレイが飾られるようになった。
<b>取組の成果と課題</b> 【C】	・県到達度調査 ・毎日の勉強がわかる。(前期低学年児童93% 中高学年児童90%)、授業は楽しく分かりやすい。(後期生徒83%)であった。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。(5年～9年75%)であった。言語活動をさらに充実させ、表現力の伸長を図りたい。	・学校が楽しい。(前期低学年児童93%、中高学年児童95% 後期生徒97%)であった。 ・私はそうじを一生懸命している。(前期低学年児童93%) みんなそうじを一生懸命している。(前期中高児童81% 後期生徒81%)であった。 ・誰にでもあいさつができる。(前期低児童84% 前期中児童95%高児童82%) みんな気持ち良いあいさつをしている。(後期生徒75%)であった。掃除や挨拶の意義を理解し、主体的に取り組む姿勢を養う必要がある。	・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(86%)であった。地震や火災時の避難訓練、不審者対応訓練を実施し、災害等への備えを図った。 ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。(38%) 前後期全体での集計になったため、「わからない」が43.5%あった。	・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。(79%)で昨年とほぼ同数。 ・HPの更新を定期的に行ったが、内容の充実を図らなければならない。 ・校区の商店や地域人材の協力をどのような形で得ることが出来るかを、これからも引き続き考え行く必要がある。
<b>改善方法</b> 【A】	・「わかやま創造科」を中心に教職員全体の授業研究を推進し、児童生徒が探究的に学ぶ力を育成する。 ・学校図書や文章の充実をさらに進め、子供達が集う魅力ある学校図書館づくりに学校全体で取り組む。 ・協働的に学ぶ力を高めるためにペア学習やグループ学習で、多様な考えを理解したり、発信したりできるように努める。	・9年間を見通した体験活動ができるように、特別活動の年間計画を見直す。 ・清掃活動について考える学級会や集会を行い、主体的に清掃に取り組む姿勢を高める。 ・特別な教科「道徳」の充実に学校全体で取り組み、豊かな心を持った子供を育成する。 ・児童生徒会を中心に、あいさつ運動にさらに取り組む。	・SCやSSW、関係機関と連携したケース会議を定期的開催し、指導方針の共有、個別支援の充実に努める。 ・給食を通じて、食育に対する意識をさらに高める。 ・キャリア教育の取り組みを、学年便りやHPを通じて情報発信する。	・学校の情報がより広く伝わるように、HPの充実に努める。 ・コミュニティースクールと連携し、地域人材の活用を進める。

## 3 その他の課題

--